

## 学生フォーラム「今と未来を繋ぐ」

～ 学生、現任技師、教員がフラットに語り合う『臨床検査技師の将来像』～

◎桑島大和<sup>1)</sup>、村上 ゆうな<sup>2)</sup>、中平 ひより<sup>3)</sup>、牧之瀬 ひかり<sup>2)</sup>、稲垣 凜々子<sup>2)</sup>  
 金沢大学 医薬保健学域 保健学類 検査技術科学専攻<sup>1)</sup>、藤田医科大学 医療科学部 医療検査学科<sup>2)</sup>、群馬医療福祉大学医療技術学部 医療技術学科 臨床検査学専攻<sup>3)</sup>

## 【企画主旨】

「これからはあなたたちの時代」「頑張ってね！」実習で指導をしてくれる技師さんや、学校の先生たちは口々にそう言う。でも、私たちには具体的なイメージがわからない。臨床検査の現場には、一体どんな課題があって、今どんなことに取り組まれていて、私たちはどんなことを期待されているのだろうか？AI時代の臨床検査技師像／ジェネラリストとスペシャリスト／多職種連携、地域医療における臨床検査技師の役割／働き方の多様化——不確実で予測困難な時代を生きる私たちは、将来、「臨床検査技師」が果たす役割を社会に対してどう説明するのだろうか？

本企画のテーマは「臨床検査技師の今と未来を繋ぐ」。臨床検査技師を志す学生、現任臨床検査技師、臨床検査技師養成校の教員が、「臨床検査技師の将来像」について、フラットに本音で語り合うワークショップです。

## 【企画メンバーの思い】

◆専門学校で臨床検査技師を目指して勉強し、先生方や臨地実習先の技師の方々とお話させていただく中で技師業界の課題点や将来の多様性に気づきました。それを受け、可能性を広げるために編入学した先でご縁もあり、本企画に携われることを大変光栄に存じます。既に資格を有する学生というイレギュラーな経歴ならではの視点を存分に発揮し、学生・社会人・教員が臨床検査技師の将来像を共有できる有意義な企画にします。

(桑島大和、金沢大学 医薬保健学域 保健学類 検査技術科学専攻4年生)

◆白衣をまとい、多くの器具や機械に囲まれて仕事をする医療者という誇らしい職業。上辺だけの情報に興味を持って選んだ道を全く後悔していないかと言われたら嘘になる。それでも、自分の進んだ道を全うしたい。だからこそ私には、知識・情報が必要だ。変動する社会を生きていくために、今の自分に何が足りないのか、今の検査学生には何が求められているのか。この企画を通して新たな気づきを見つけ、今後の学生生活に繋げて頼られる人材に成長できるよう、素敵な時間を先生方や技師の方々と作りたいと思っています。持っている情報や知識を教えてください。皆様とお会いできることを楽しみにしています。短い時間ですがよろしく願いいたします。

(村上ゆうな、藤田医科大学 医療科学部 医療検査学科3年生)

◆メンバーと共にゼロから創り上げる企画である学生フォーラムに、初めて携わせて頂くことは私の新たな挑戦となります。今回の一歩は自分の成長に繋がる確信があり、胸が躍る思いでいます。普段揃って話すことの少ない臨床検査技師、教員、学生が本音で語り合い、それぞれの意見が活発に飛び交う熱い企画にできるように一丸となって頑張ります。

(中平ひより、群馬医療福祉大学医療技術学部 医療技術学科 臨床検査学専攻2年生)

◆臨床検査技師の世界で機械化・AI化が進んできているのに対し、臨床検査技師は減るどころか養成校が新設されており、検査技師を目指す学生が増えてきています。検査の多くが機械で行われ、さらにこれから進むAI化の中で私達学生はどのような方向性を持ちながら学ぶとよいのかを知りたいと考えております。

(牧之瀬ひかり、藤田医科大学 医療科学部 医療検査学科 臨床検査学プログラム専攻1年生)

◆私は臨床検査技師になるという目標を持っていますが、実際に現場で必要とされる人材や能力についてよく知りません。時代の変化に伴い、臨床検査技師の将来はどのように変わるのだろうか。それを理解することでモチベーションとなり、また、同じような疑問を持つ学生の助けとなると思います。学生ならではの視点から、積極的に交流に参加できるように頑張りたいです！

(稲垣凜々子、藤田医科大学 医療科学部 医療検査学科 臨床検査学プログラム専攻1年生)